# 仙台市立 北仙台中学校

## 校長先生に聞く 学校のわ！



北仙台中学校 校長
鎌田（かまた） 和之（かずゆき） 先生

### 北中生は「温かく、たくましい」

創立55周年を超え、さらに前進する北仙台中学校。今年度の生徒会スローガン【糸～55年の歴史と紡ぐその先へ～】は、これまで歴史を築いてきた学校や地域への感謝と、これから先の未来へも思いを繋いでいきたいと北中生が自ら考えました。

今年度より校長として赴任した鎌田先生は、北中生の第一印象を「とても素直で落ち着きがある」と感じたそうです。また「赴任時から多くの保護者や地域の方に優しく声を掛けて頂き、そんな家庭や地域で北中生は大切に育てられたんだな」としみじみ実感したそうです。

現在、校舎の改築中で「校庭やプール等が使えず部活動や学校行事で大変な思いをさせて心苦しいです」と語る鎌田先生は「それでも不平不満を言わず、クラスや先輩後輩が支え合う北中生は温かく、たくましい！」と力強く語っていました。

先生方も日々話し合いながら、より良い学習環境づくりに励む中「北中生の幸せのためには先生方も幸せにならなければなりません。管理職として働きやすい職場環境を目指していきたい」と語ります。

新校舎の完成後は現校舎のお別れ会を予定しているそうで「北中生や保護者だけでなく、卒業生や地域の方々にも参加して頂きたい」とのこと。北中に関わった人々が集う楽しみな行事となりそうです。

## PTA会長に聞く 家庭のわ！



北仙台中学校 ＰＴＡ会長
田中（たなか） 祥隆（よしたか） さん

### 自分たちにも関わりが深いことを理解してくれているのかも

今年度のＰＴＡ会長を務める田中さんは、中3と小2の2人のお子さんをもちながら、町内会会長や北仙台小学校お父さんの会「ダディーズ」代表など、地域の様々な団体で活動されている多忙な方。

「家族の理解と協力があってこそ」と語る田中さんですが、週末を中心に会合や行事が多く休日を家でゆっくり過ごせる日はあまり多くはありません。

そんな田中さんのことを子どもたちは割と肯定的に見てくれているようで「学校や地域のための活動なので、自分たちにも関わりが深いことを理解してくれているのかもしれません」と語ります。

ダディーズが夏休みの北小校舎を利用して開催する【きもだめし】は今年で3回目を迎え、おばけ役のボランティアには多くの北中生も参加しました。今年10月には同じく北小児童のための【北斗まつり】の開催を予定しており、そこでも多くの北中生がボランティアとして参加する予定となっています。

最後に、ご自身の地域や学校での活動を通じて、【家庭のわ】が深まっているかを伺うと「その答えがわかるのは、きっと子どもたちが大きくなった時でしょうね」と冗談っぽく教えてくれました。

## 北仙台見守り隊に聞く 地域のわ！



北仙台地域見守り隊 代表
岡崎（おかざき） 智紀（ともので） さん

### 学校やＰＴＡだけではとてもカバーできない状況

岡崎さんは今年度「北仙台地域見守り隊」の結成を自ら呼びかけ、集まったボランティア隊員の方と青いビブスを目印に通学路の安全を見守っています。

小学校と中学校の間を通る「鶴ヶ谷荒巻青葉山線」は交通量が多く、近年はクマの出没や自然災害などもあり登下校時の安全を「学校やＰＴＡだけではとてもカバーできない状況になっている」と言います。

不審者情報や未成年者を狙った犯罪など、大人への警戒心が強まる中「身近に頼れる大人たちがいることを知ってほしい」という思いも活動の背景にあるそうです。

共働きの増加や子供会の加入世帯が減少する中で「無理せずできる範囲で」をモットーに「散歩のついでや都合のよい時だけでいいので、もっと多くの方が気軽に参加できる活動にしたい」と語る岡崎さん。北中生の学校生活は、こうした自主的な地域活動にも支えられています。

### あとがき

今回のテーマに沿って学校・家庭・地域の3名の方にインタビューを行いました。学区内には象徴となるような寺社や商店街はありませんが、今回掲載できなかった方々をはじめ「人」を中心にして支え合う「わ！」が結ばれていることを改めて実感しました。ここで育つ生徒たちが将来「わ！」の中心となり地域を引っ張ってくれることを期待します。

2026年度　北仙台中学校ＰＴＡ広報委員会

Kitasendai Junior High School








